

「中国地域発展推進会議」設立趣意書

近年、中国地域の経済は、一部に活況を呈している地域があるものの、東京一極集中による地域間格差や、全国的にも顕著な人口減少・高齢化の進行により疲弊しており、加えて海外に目を向けると、東アジアの興隆や国際化の進展等による厳しい地域間競争に晒されている。

こうした当地域を取り巻く厳しい環境に対応するため、地域として早急に新たな対策を図り、地域の活性化を実現しなければならないが、そのために残された時間は多くない。取り急ぎ、地方分権改革の流れを加速させていくとともに、目下策定されている「広域地方計画」等で提起された施策の効率的、効果的な実施が求められる。即ち、自立した広域的な地域の経営が、地域活性化のカギと言える。

他地域においては、急速な社会経済の変化に対応するため、広域的に官民一体となった種々の活動がなされてきている。しかし、中国地域においては、残念ながらこれまで県境を越えた広域にわたる課題に対して、官民が協働して地域を創造していく活動はほとんど見受けられない。

ついでには、国内外の地域間競争に打ち勝つために、中国地域の行政と経済界のトップが一堂に会し、当地域の特色を活かした地域の発展に取り組むことを目的とした協議体『中国地域発展推進会議』を設置せんとするものである。

平成20年11月17日

中国地域発展推進会議